

令和2年度「パンガー県における安全な送迎に向けた輸送計画」

The Project for safety transportation in Phang Nga Province



支援した車両



車両を使用する様子

| | |
|-----------------------|---|
| Recipient | 教育開発財団 (Foundation of Education and Development) |
| Site | パンガー県タクアパー郡・クラブリ郡 |
| Granted amount | 3,820,000 バーツ |
| Category | 教育施設及び研修 |
| Background | <ul style="list-style-type: none"> ・パンガー県では、10万人～15万人のミャンマー人移民労働者（及びその家族）がいると推定されており、移民労働者の子供たちはタイの公立学校に通う権利はあるものの、語学の問題や社会的偏見から学校側が受け入れない、もしくは学校に通えない児童も多くいる。 ・被供与団体は、2004年より移民労働者の子供のために学校の運営を行っており、ミャンマーから教科書を取り寄せ、子供たちがミャンマーに戻っても他の学校に編入できるように、ミャンマーのカリキュラムとタイのカリキュラムで授業を行っている。 ・同校では、生徒の送迎のためのスクールバスを保有しているが、耐用年数を超えて使用しているため修理費が嵩んでいる事に加え、保有しているバスは小型であるため、全ての生徒の送迎に数往復しなければならず、学校に遅刻してしまう生徒もいる。 ・寄付されている、運営のための寄付金の用途は定められており、また、学生からの授業料月400バーツは授業に必要な教科書代や講師の費用に当てられるため、バスの購入費用を賄うことが困難であった。 |
| Main activity | スクールバス（ベンチ設置費用含む）2台の整備 |
| Impact | 生徒が始業時間までに登校することが可能になる。子供たちをバス通りまで送迎している家族も送迎が容易になり、間接的に裨益する。 |